

待望のみんなよう映重いよいよ完成！

みんなよう 自慢

中部篇全3巻

——九州篇の姉妹篇——



16ミリ版
¥39,000

わしが国さの
なつかしい
郷土民謡を
たづねて

解説

演出 西尾泰輔
撮影 福田寅次郎
解説 高橋博

みんなにした生まれ、たれにも唄はれる唄わしがくにおらがくにさのみんなようをたづねて——わたしたちは中部日本に旅をしました。みんなようはそのくにそのまちのこゝろでありあた、かい情でもあります。わたくしたちはしばしばその旅情にしたって見たいと思います。まづ日本一の富士のくに清水港は次郎長どんのくに茶どころ静岡の茶つきり節—伊豆蘆山の代官江川垣庵公が農兵を調練するために作ったと云う農兵節それから開港の歴史の裏に悲しい犠牲の一生を終えた唐人お吉の唄、日本の屋根とも云える中部山岳その伊那谷に古くから唄いつたえられた伊那ぶし、北陸の中心地抒情ゆたかな柏崎の三階ぶし、日本海の荒海に浮ぶ佐渡ヶ島——其処のおけさ節、わたくしたちは太平洋から日本海へ唄と踊りの旅をつづけました。そのくにぐにのみんなようは、そのくに全部の人の心からの唄であり、踊りでありました。其処の土、其処の波によってつちかはれて来たみんなようでありました。さアさみんなで踊ろよ唄ほ、わしがくにおらがくにさのみんなよう自慢！



製作

英映画社

東京都中央区八重州4の5
電話東京(28)4680番